

優秀賞

小学生部門

滋賀県守山市

守山市立吉身小学校6年(株式会社おうみ教育社)

大崎 永菜

心の言葉

言葉で自分の気持ちは伝わる。うれしい気持ち、悲しい気持ち、怒っている気持ちは、全て言葉に表れます。

最近、母と姉は大ゲンカしていました。姉の言葉使いが悪く、母はそれを注意しました。姉は注意されたことが気に入らず、「はいはい」と、ぶっきらぼうに答えました。そのことがきっかけで、ケンカが始まってしまいました。二人の言葉がきつくなるにつれ、私の心はどんどん悲しくなっていました。怒られていないのに、怒られているように寂しく感じました。長い時間ケンカは続き、姉は部屋に閉じこもってしまいました。次の日、母と姉はおたがいの悪かったことを反省し、仲直りしました。

私は、母と姉のケンカで二つの事を学びました。一つ目は、「きつい言葉は言われている人だけでなく、周りの雰囲気まで悪くなる」ということです。きつい言葉を言われたら、嫌な気分になります。それだけでなく、きつい言葉を言っている人、言われている人、それぞれが周りの人に伝達してしまいます。そのきつい一言だけで、みんなが悲しい気持ちになってしまうのです。二つ目は、「ごめんなさい」と謝るときの気持ち」です。母は、姉とケンカした後「きつく言いすぎてごめんね」の一言を言いました。その一言だけで、二人は仲直りしました。正直な気持ちで「本当にごめんなさい」と思ったからこそ、すぐに仲直りできたのだと思います。私はこれからも、言葉使いにはとても気をつけたいです。そして一言一言に自分の気持ちをこめて話したいと思います。